

# COFACE ECONOMIC PUBLICATIONS

## PAYMENT SURVEY



ヌーリ・シャティヨン  
アソシエイト・  
エコノミスト  
バーナード・オウ  
アジア太平洋・チーフ・  
エコノミスト  
ジュンユー・タン  
北アジア・エコノミスト

## アジア企業支払動向調査 2025：景気の先行き不透明感の中で、企業は支払動向の悪化を予想

2024 年のアジア太平洋地域の経済成長は、コロナ禍後の正常化の勢いが衰え需要が弱まったため減速した。2023 年に減少した世界貿易量の回復は緩やかであった。インフレ率は引き続き鈍化したが、コロナ禍前（2019 年）と比べてコストが大きく上昇したままである一方、売上高の確保が難しくなったことから、多くの企業はコスト管理を優先した。

コファスの 2025 アジア支払動向調査によると、2024 年の与信状況は 2023 年より前と比較すると依然としてタイトであった。支払条件（支払期間）は 2023 年の 64 日から 65 日に延びたが、2018～2022 年の 5 年間の平均である 69 日を下回った。調査対象の 9 か国の間でばらつきがあるが、与信期間の大幅な延長という点ではタイが突出していた。タイの企業は顧客が抱える流動性問題に対応する必要があった。他の多くの国でも支払期間が延び、短縮したのはオーストラリア、シンガポール、台湾だけである。向こう 6 か月では、2/3 の企業が支払期間の短縮を予想している。これは、先行き不透明感が高まる中で慎重さが求められ、現金の確保が重視されていることを反映している。

厳しい与信条件にもかかわらず、支払遅延を報告した企業の割合は 2023 年の 60%から過去最低の 49%に低下した。大半の国で支払期間が延びたことにより、企業にとって支払いを行い支払遅延を回避するための時間的余裕が生じた。支払遅延を報告した企業が増加したのはタイと台湾だけである。一方、シンガポールとオーストラリアでは、支払期間が短縮されたにもかかわらず、支払遅延を報告した企業が減少した。

支払遅延期間の平均は 65 日で 2023 年と変わらなかった。タイと中国で支払遅延期間が延びたが、これはオーストラリアやインドなど 6 か国での短縮により相殺された。業種別では、6 業種で延び、別の 6 業種では短くなった。最も大きく延びた業種は自動車と運輸である一方、小売と建設では大幅に短縮した。

しかし、懸念すべき傾向がある。年間売上高の 2%を超える超長期支払遅延（ULPD、180 日以上）を報告した企業の割合が 2023 年の 23%から 40%に上昇し、過去最高を更新した。これは、信用リスクの急速な悪化を示唆している。コファスの経験によれば、これらの支払遅延の 80%は回収不能である。これらの支払遅延が最も大きく増えたのはインドで、タイと中国がこれに続く。木材、農業・食品、自動車を筆頭に、調査対象となったすべての業種で ULPD が増加した。

今後については、回答企業の過半数（57%）が支払動向の悪化を予想した。昨年の調査と比べて事業活動の悪化を見込む企業が増えたためである（昨年の 14%に対し今回は 33%）。経済の不確実性の背後にある主なリスクとして、需要の減速、過度な競争圧力、コスト上昇が挙げられている。もっとも、過半数の企業は希望を捨てておらず、インドを筆頭に 56%が改善すると予想している。

この調査は 2024 年 12 月から 2025 年 3 月にかけて、アジア太平洋地域の 9 か国 13 業種、2,400 社以上を対象として実施された。

その他のコファス経済出版物は、下記のリンクから：

<https://www.coface.com/news-economy-and-insights>



ヌーリ・シャティヨン  
アジア太平洋・エコノミスト



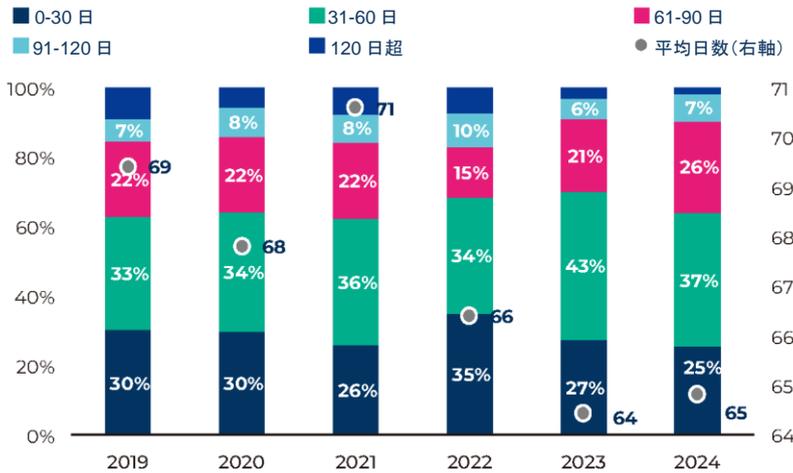
バーナード・オウ  
アジア太平洋・チーフ・エコノミスト



ジュンユー・タン  
北アジア・エコノミスト

# 1 支払条件<sup>1</sup>： 支払条件は依然としてタイトで、今後さらにタイト化する可能性がある

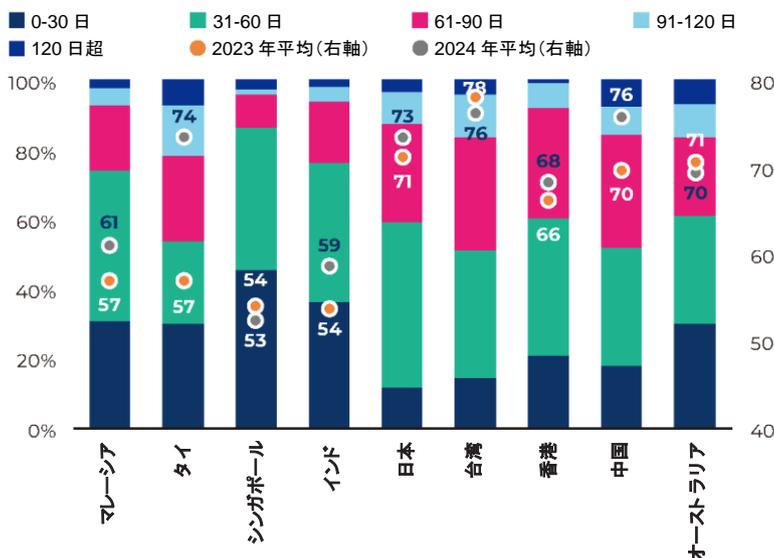
Chart 1:  
アジア太平洋地域の支払条件



- 2024年にアジア企業5社のうち4社近く(78%)が信用販売を行う意思を示した。これは長期平均(79%)と合致している。ただし、過去最高を記録した2023年の84%よりは低下した。低下した主な国は、中国(2023年比-14ポイント)、インド(同-9ポイント)、タイ(同-1ポイント)であった。信用条件を提示する企業が増加したのは香港(+10%)、オーストラリア(+7%)、台湾(+4%)、マレーシア(+2%)で、シンガポールと日本は横ばいとなった。

- 支払条件(支払期間)を提示する理由としては、市場慣行(31%)、市場競争(28%)、顧客の流動性不足(19%)が多かった。3番目の理由として挙げられた流動性逼迫はタイではトップ、マレーシアとシンガポールでは第2位の理由であり、ASEAN諸国ではキャッシュフローの問題がより大きいことを示している。

Chart 2:  
地域別支払条件



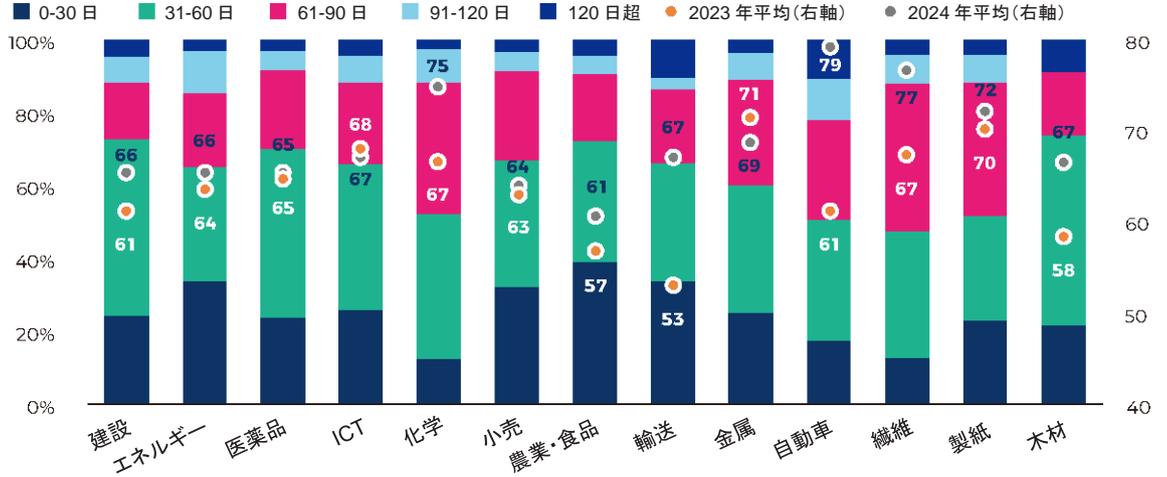
- 支払期間は2023年の64日から65日へとわずかに延びたが、ここ数年と比べると依然として短い(Chart 1)。特に、長い支払期間(90日以上)を提示する企業の割合は9%で2年連続横ばいとなった。これは、需要が低迷する中、多くの企業が慎重な与信方針をとっていることを表している。

- 大半の市場で信用状況が緩和されており(Chart 2)、タイでは支払期間が17日間の大幅な延長となった。このほか、中国(+6日)、インド(+5日)、マレーシア(+4日)の延長が目立った。一方、台湾(-2日)、シンガポール(-1日)、オーストラリア(-1日)では支払期間が短縮した。支払期間が最も長かったのは中国と台湾(いずれも76日)で、タイが第2位(74日)である。インドとシンガポールが支払期間の最も短い国であることに変わりはない(それぞれ54日と59日)。

<sup>1</sup> 支払条件(支払期間) - 顧客が商品やサービスを購入した時点から支払期日までの期間

Chart 3:

業種別支払条件



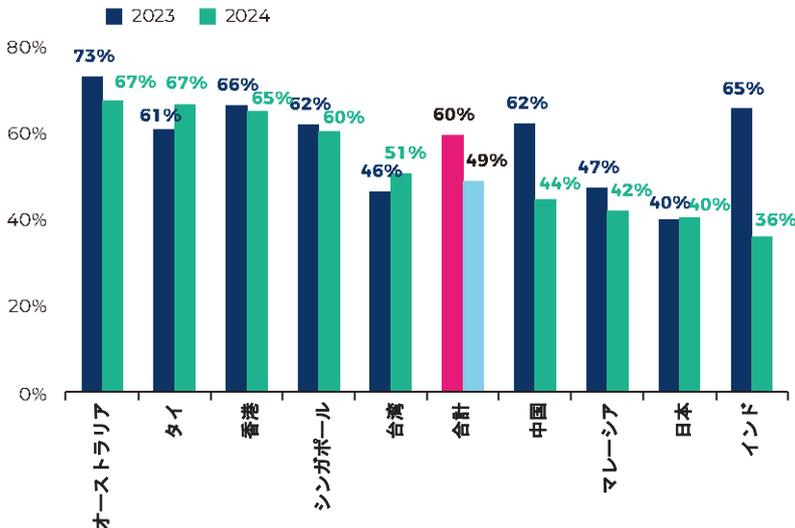
- 13業種中10業種が支払期間を延長し、特に自動車業界が18日、輸送業界が14日延長した(Chart 3)。信用条件が緩和したのは、繊維(+9日)、化学(+8日)、木材(+8日)である。支払期間が短縮したのは、金属(-3日)とICT(-1日)のみで、医薬品は横ばいとなった。自動車業界は、支払期間の大幅な延長により信用条件が最も柔軟な業界(79日)となり、繊維業界(77日)と化学業界(75日)が

これに次いだ。自動車市場の激しい競争の中で、ディーラーは信用供与をより柔軟に行い、競争上の手段として活用している。

- 今後については、2/3以上の企業(69%)が支払期間の短縮を予想した。延長を予想する企業が増えたのはタイだけで、タイの企業が長期化するキャッシュフロー問題に備えていることを示唆している。

## 2 支払遅延<sup>2</sup>: 支払遅延期間はタイと中国で長く、他の国では短い

Chart 4:  
支払遅延を報告した企業の地域別割合



- 支払遅延を報告した企業数は減少し、回答企業の比率は2023年の60%から2024年には49%に低下した(Chart 4)。これは、コファスが調査を開始した2016年以来最低の水準である。主な要因は、インド(2023年比-29ポイント)、中国(同-18ポイント)、マレーシア(同-5ポイント)、オーストラリア(同-6ポイント)での支払遅延を報告した企業数の減少であり、オーストラリア以外では信用供与期間の長期化と関連している可能性がある。この地域の支払遅延の一般的な理由として回答企業が挙げたのは、キャッシュフローの減速、激しい競争、需要の鈍化、顧客の支払不履行である。

- シンガポールとオーストラリアでの支払条件の厳格化は支払遅延の増加にはつながらず、それどころか支払遅延の減少が報告された(それぞれ-6ポイント、-2ポイント)。最大の懸念はタイで、支払期間が大幅に

2 支払遅延 - 支払期日と実際の支払日との間の期間



延長されたにもかかわらず、**支払遅延が急増した**（6ポイント増加）。タイの金融環境は引き続きタイトで、信用リスクが高まる中で国内銀行は融資基準を厳格化している。

- **業種別で見ると、支払遅延が増加した業種は輸送と自動車のみである**（それぞれ 2023 年比+2%、+1%）。一方、ICT（2023 年比-19%）、化学（同-18%）、木材（同-17%）、農業・食品（同-15%）、小売（同-15%）、製紙（同-14%）、金属（同-14%）など、その他すべての業界で支払遅延が減少した。
- **日数で見ると、2024 年の平均支払遅延日数は 65 日と横ばいであった**（Chart 5）。平均支払遅延日数が増加したのはタイ（2023 年比+14 日）と中国（同+5 日）で、それら以外のすべての国はオーストラリア（同-15 日）、インド（同-11 日）を筆頭に、減少

した（Chart 6）。タイは 2024 年に支払遅延日数でオーストラリアを抜いて最長となり（78 日）、香港（74 日）がそれに続いた。一方、日本と台湾が支払遅延日数の最も短い国であることに変わりはない（それぞれ 46 日と 49 日）。

- 業種別では、13 業種中 6 業種で支払遅延期間が伸び、6 業種で短縮した。農業・食品業界の支払遅延期間に変化はなかった（Chart 7）。自動車（2023 年比 +8 日）、輸送（同+5 日）、繊維（同+5 日）、木材（同+4 日）の各業界で延長が目立った一方、小売り（同-7 日）、建設（同-6 日）、エネルギー（同-4 日）業界では大幅に短縮した。自動車（65 日）、次いで建設（70 日）の支払遅延期間が最も長かった。化学業界と医薬品業界の支払遅延期間が引き続き最も短かった（いずれも 58 日）。

Chart 5 :

アジア太平洋地域の支払遅延

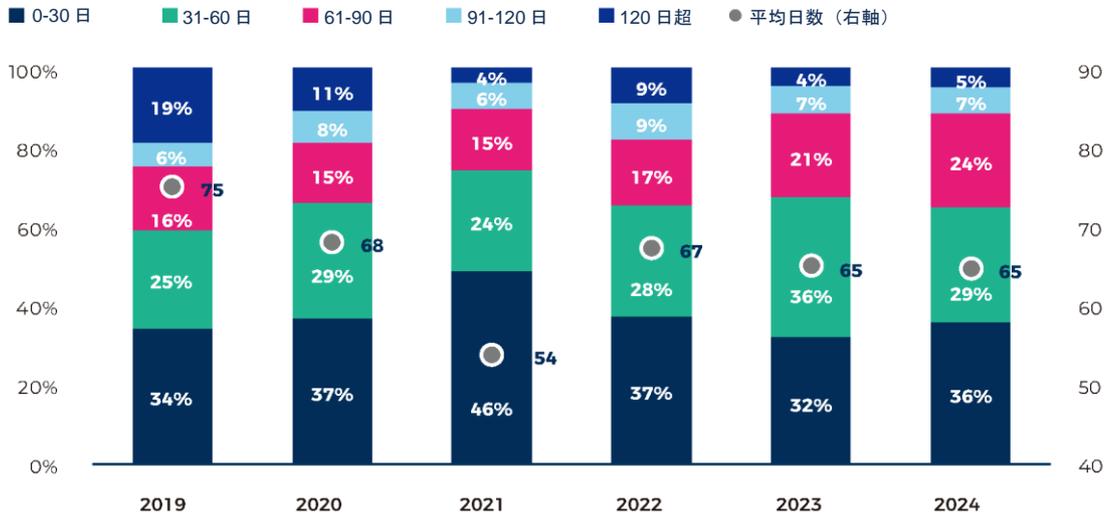
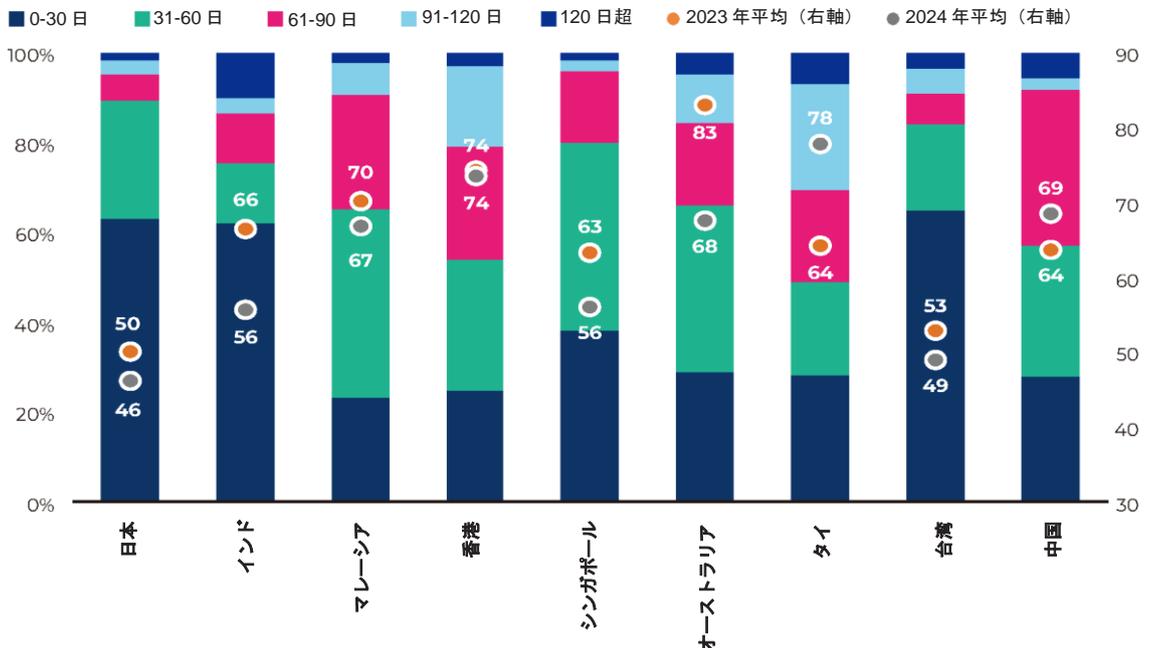


Chart 6 :

地域別支払遅延



- この地域の売掛金回収日数（DSO）は129日と横ばいであった。DSOは、製品出荷から代金回収までの総平均待機期間であり、支払期間と支払遅延期間を合計することによって得られる。調査対象の9か国のうち5か国でDSOが減少し（Chart 8）、オーストラリア（2023年比-16日）、シンガポール（同-9日）、インド（同-6日）、台湾（同-5日）などでキャッシュフロー状況が改善した。他の4か国（タイ、中国、香港、マレーシア）ではDSOが増加した。最も懸念されるのはタイで、支払期間と支払遅延の長期化のため、DSOが大幅に増加した（+31

日）。タイのDSOが現在、この地域内で最も高く（152日）、シンガポールとインドのDSOが最も低い（それぞれ117日と120日）。調査対象の13業種のうち8業種でDSOが増加した（Chart 9）。特に、自動車（+26日）、輸送（+19日）、繊維（+14日）、木材（+13日）で増加が目立った一方、小売（-7日）や金属（-5日）など5業種では減少した。自動車業界と繊維業界のDSOが最高レベル（それぞれ154日と144日）で、医薬品業界が最も低く123日である。

Chart 7:  
業界別支払遅延

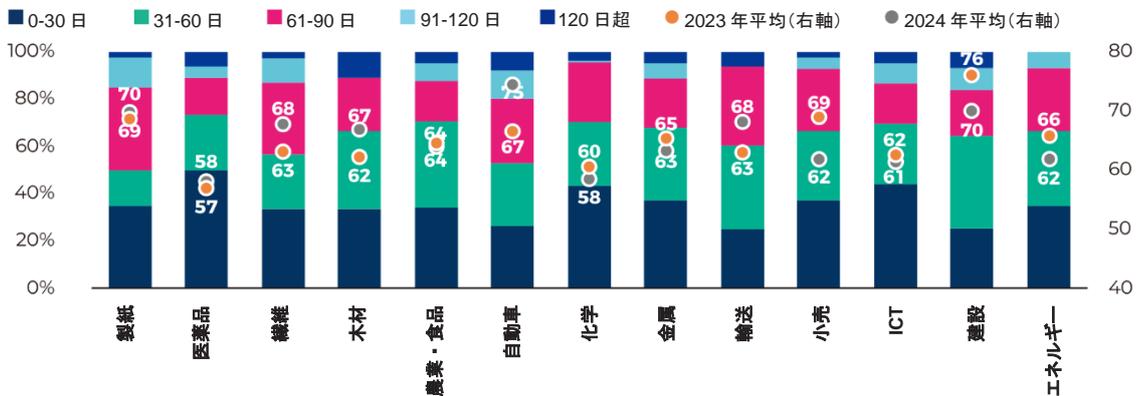


Chart 8:  
地域別売掛金回収日数

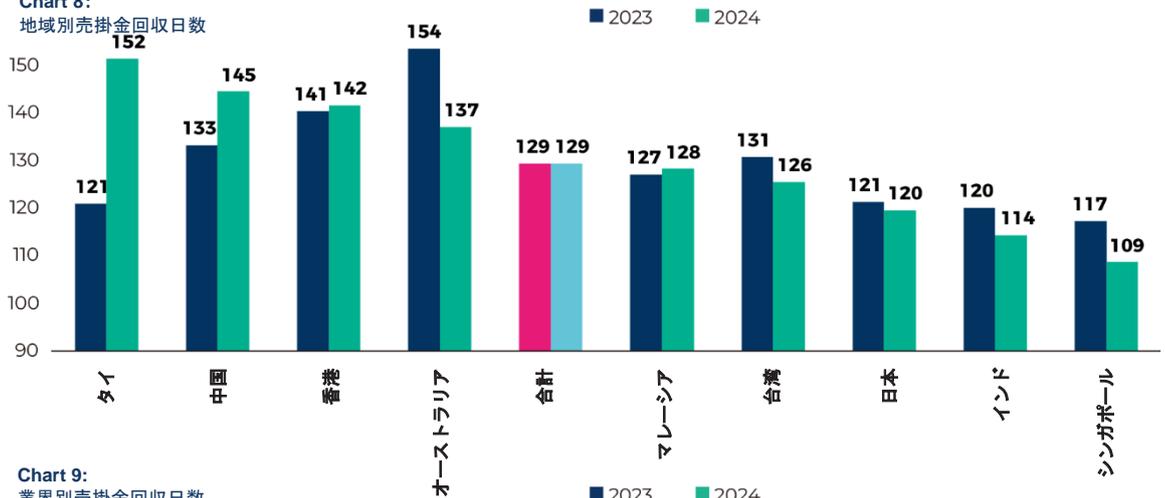
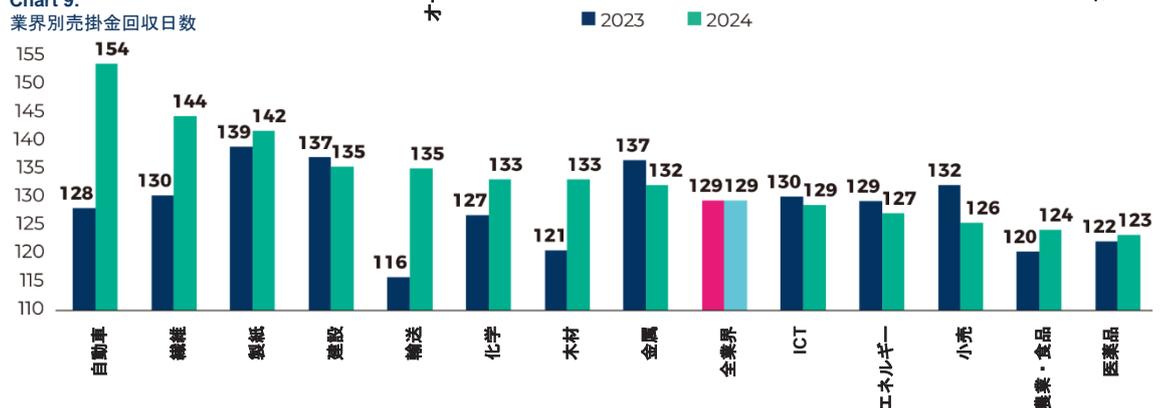


Chart 9:  
業界別売掛金回収日数





- 年間売上高の2%を超える ULPD を報告した回答企業の割合は、2023 年の 29%から 2024 年には 40% に上昇し (Chart 10)、コファスが 2016 年に調査を開始して以来最高となった。コファスの経験では、これらの遅延の 80%が一度も支払われていないことから、この 2%という閾値は非常に高い不払いリスクを示している。こういった遅延の増加が目立った国は、インド (2023 年比+33%)、タイ (同+16%)、中国 (同+16%)、マレーシア (同+14%) である (Chart 11)。一方、減少したのはシンガポール (-5%)、日本 (-3%)、台湾 (-2%) だけである。ULPD を有する回答企業の割合が最も高かったのは香港 (56%) で、最も低かったのは日本 (8%) である。全 13 業種で ULPD が増加しており (Chart 12)、中でも木材 (+37%)、農業・食品 (+20%)、自動車 (+18%) の増加が目立った。
- 今後 6 か月に関しては、支払遅延状況の悪化を予想する企業 (57%) の方が改善 (32%) を予想する企業よりも多い。日本、台湾、シンガポールが最も悲観的だった (ディフュージョン・インデックスはそれぞれ-72%、-42%、-38%)。興味深いのはタイで、2024 年の支払動向に懸念を抱かせる報告があったにもかかわらず、改善を予想する企業の割合が最も高かった (63%)。業種別では繊維と化学が最も悲観的で (ディフュージョン・インデックスは-42%)、製紙業界が最も楽観的 (同+25%) である。

Chart 10:  
APAC における年間売上高に対する ULPD の比率

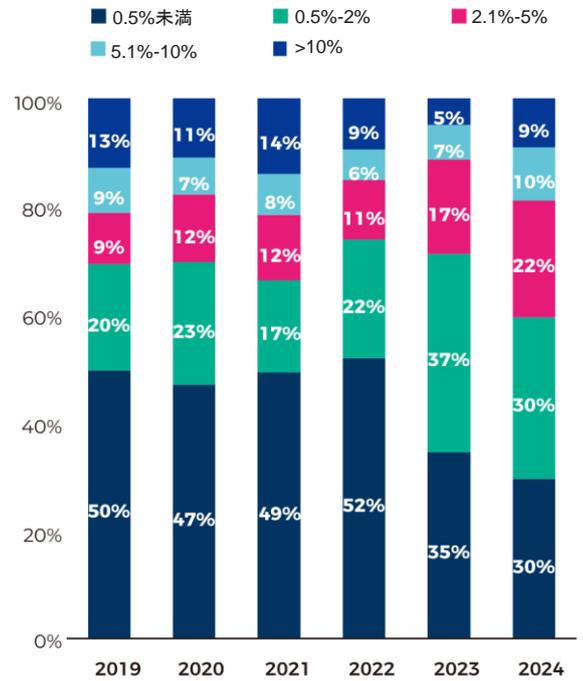


Chart 11:  
年間売上高に対する ULPD の比率 (地域別)

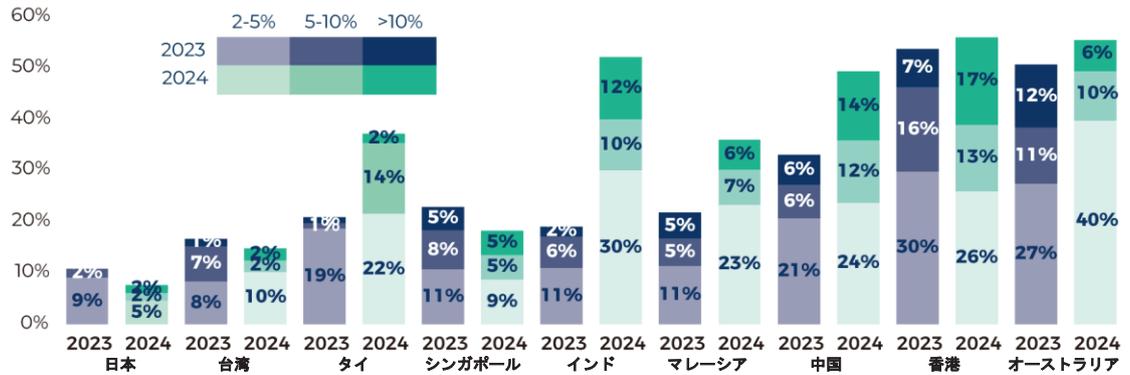
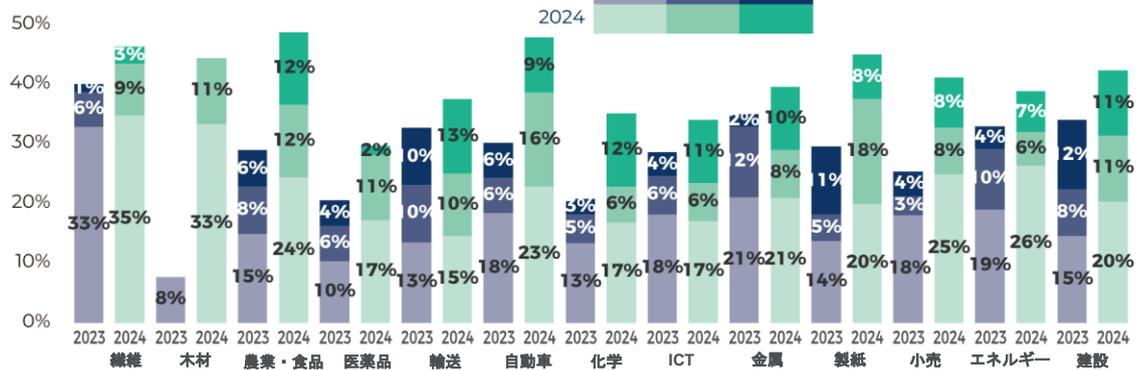


Chart 12:  
年間売上高に対する ULPD の比率 (業界別)



### 3 経済見通し： 貿易政策の不確実性からアジア企業はより悲観的

Chart 13:  
事業活動の地域別評価(2024年対2023年)

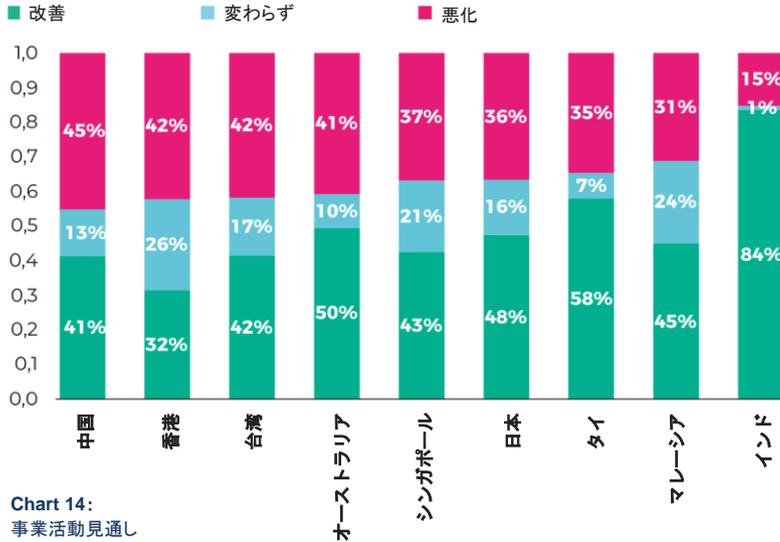


Chart 14:  
事業活動見通し

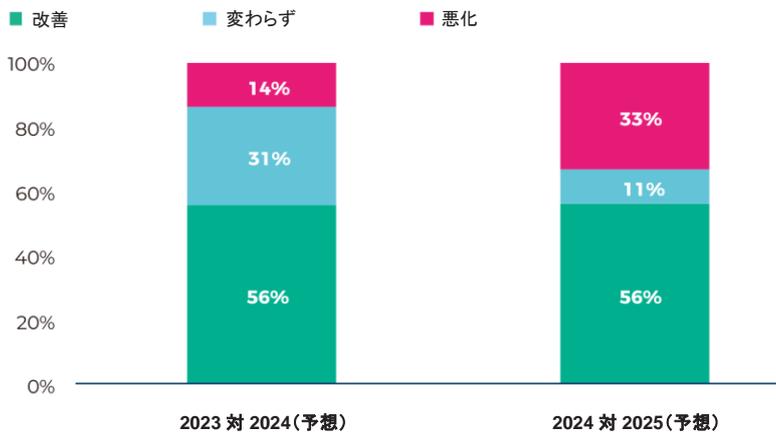
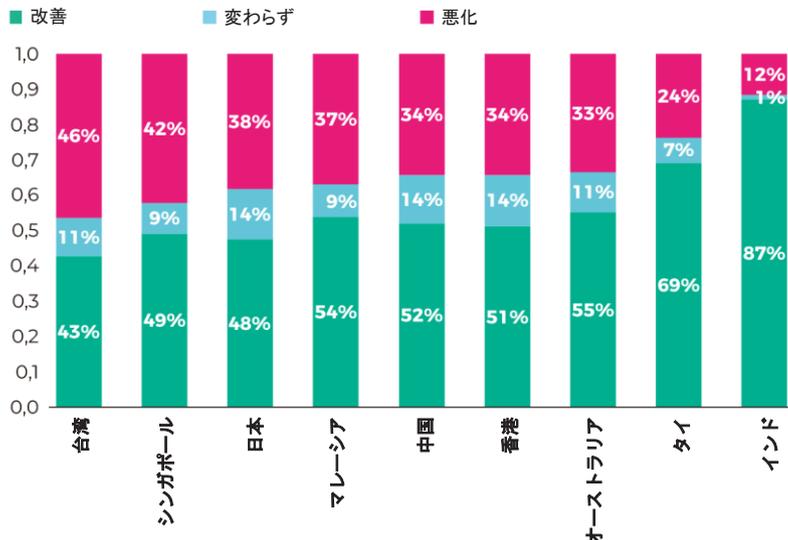


Chart 14:  
事業活動の地域別見通し(2024年対2023年)



・2024年のアジア太平洋地域の成長率は需要の軟化により鈍化した。2024年の貿易の回復は2023年の減少分をわずかに補うにとどまった。政策金利は、アジア先進国では高止まりし、アジア新興国ではコロナ禍前の水準に回復した。世界経済政策の不確実性が高く貿易リスクが増大していることから、2025年の経済見通しは引き続き悪化している。

・2024年の需要軟化を反映して、事業活動が悪化したと答えた回答企業の比率は、前年の20%から38%に上昇した。特に、中国(回答企業の45%)、香港(同42%)、台湾(同42%)では2024年の事業活動が2023年と比べて大幅に悪化したとみられる(Chart 13)。企業心理が最も悪化した業界は、中国では化学、農業・食品、自動車、香港では農業・食品と木材、台湾では製紙、エネルギー、農業・食品であった。

・インド企業が最も楽観的で、84%が2024年の事業活動が2023年から改善したと回答した。この背景には、2024年のインド経済の力強いパフォーマンスがある。一方、タイで改善を示した企業の比率は2023年(2022年比)の64%から58%に低下し、悪化と評価した企業の比率は32%から35%に上昇した。

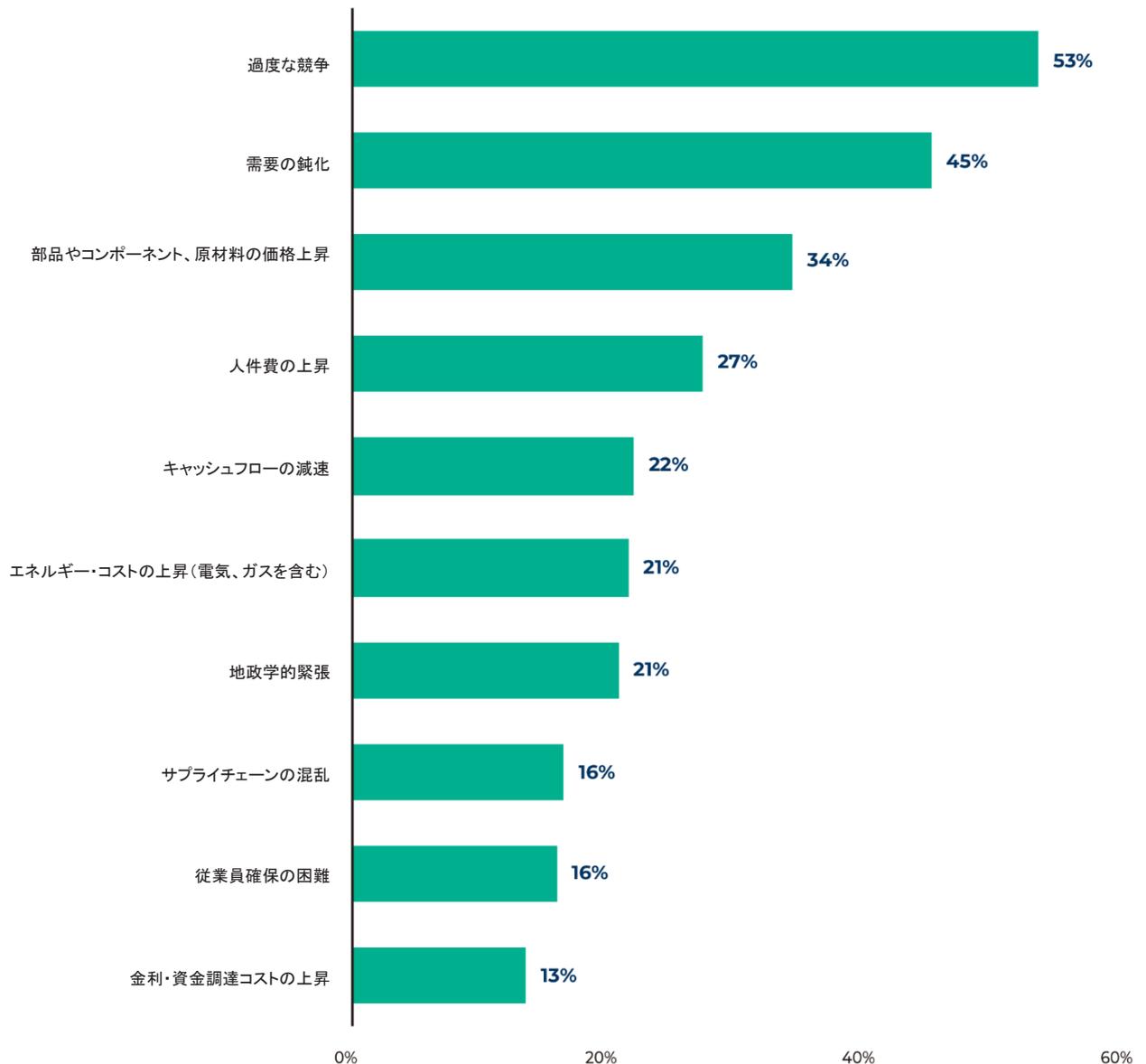
・コファスは、関税や貿易に関連する政策の不確実性が企業支出を遅らせ、消費者の信頼を妨げているため、アジア太平洋地域の経済成長は2025年にさらに鈍化すると予測している。回答企業も当社の見解と同じで、2025年に(対2024年で)事業活動が悪化すると予想した企業の比率は33%で、昨年調査の14%(2024年予想、対2023年)の2倍以上となった(Chart 14)。台湾とシンガポールの企業が最も悲観的で、回答した10社中4社以上が事業活動の悪化を予想した。インドが今回も最も楽観的で、回答企業の87%が事業活動の改善を予想した(Chart 15)。

・この年の事業活動に関して最も楽観的だった業界は医薬品(76%)で、製紙(63%)、金属(62%)、エネルギー(58%)がそれに続いた。一方、木材業界は楽観度が最も低かった(47%)。実際、2024年に事業活動の悪化を見込む回答企業の比率が最も高かったのは木材業界(44%)とICT業界(42%)である。これは、これらの業界が支払遅延の悪化傾向を予想していたことと符合する。



- 回答企業が挙げた 2025 年の自社の経営に対する主なリスク (Chart 16) は、過度な競争圧力 (53%) と需要の鈍化 (45%) である。もっとも、地域の中で上位のリスクには微妙な違いがある。例えば、日本の企業は投入コストの上昇 (51%) や需要の鈍化 (46%) を主なリスクとして挙げている。シンガポールでは、過度な競争圧力 (57%) と労働コストの上昇 (42%) が最も多く指摘されているリスクである。オーストラリア (42%) とマレーシア (40%) では、労働コストの上昇が一般的に挙げられるリスク要因である。

Chart 16:  
自社の経営上のリスクとして当該要因を挙げた回答企業の割合 (複数回答可)



# 支払動向調査の結果

## 国別

### オーストラリア

コファスの評価：A2

	2020	2021	2022	2023	2024	2024 vs.2023	対 APAC
<b>支払条件</b>							
支払条件を提示している回答企業の割合	74.8%	77.0%	80.5%	77.0%	84.0%	↗	高
平均支払条件（日数）	81	82	69	71	70	↘	高
<b>支払遅延</b>							
支払遅延を経験	90.7%	93.4%	94.8%	73.0%	67.0%	↘	高
平均支払遅延日数が 90 日以上	20.4%	19.9%	24.7%	30.1%	15.7%	↘	高
超長期支払遅延が売上高の 2%以上	53.3%	56.1%	63.0%	51.0%	55.4%	↗	高
<b>全体</b>						↗	高

### 中国

コファスの評価：B

	2020	2021	2022	2023	2024	2024 vs.2023	対 APAC
<b>支払条件</b>							
支払条件を提示している回答企業の割合	67.4%	66.6%	50.3%	79.0%	65.0%	↘	低
平均支払条件（日数）	77	77	81	70	76	↗	高
<b>支払遅延</b>							
支払遅延を経験	56.8%	52.5%	40.4%	62.2%	44.0%	↘	低
平均支払遅延日数が 90 日以上	29.5%	35.2%	31.4%	10.1%	8.2%	↘	低
超長期支払遅延が売上高の 2%以上	47.6%	63.8%	36.4%	33.1%	49%	↗	高
<b>全体</b>						↘	低

### 香港

コファスの評価：A3

	2020	2021	2022	2023	2024	2024 vs.2023	対 APAC
<b>支払条件</b>							
支払条件を提示している回答企業の割合	88.6%	87.4%	90.6%	81.2%	91.4%	↗	高
平均支払条件（日数）	81	75	72	66	68	↗	高
<b>支払遅延</b>							
支払遅延を経験	95.5%	93.9%	88.5%	66.3%	65.0%	↘	高
平均支払遅延日数が 90 日以上	32.3%	17.7%	16.5%	22.4%	21.0%	↘	高
超長期支払遅延が売上高の 2%以上	66.1%	65.6%	44.7%	53.7%	56%	↗	高
<b>全体</b>						↗	高

### インド

コファスの評価：B

	2020	2021	2022	2023	2024	2024 vs.2023	対 APAC
<b>支払条件</b>							
支払条件を提示している回答企業の割合	96%	97%	96%	97%	88%	↘	高
平均支払条件（日数）	60	59	53	54	59	↗	低
<b>支払遅延</b>							
支払遅延を経験	83%	70%	69%	65%	36%	↘	低
平均支払遅延日数が 90 日以上	7%	7%	7%	11%	13.3%	↗	高
超長期支払遅延が売上高の 2%以上	9%	18%	16%	19%	52%	↗	高
<b>全体</b>						↗	高

倒産リスク

A1

非常に低い

A2

低い

A3

満足な水準

A4

妥当な水準

B

かなり高い

C

高い

D

非常に高い

E

極めて高い

## 日本

コファスの評価：A2

	2020	2021	2022	2023	2024	2024 vs.2023	対 APAC
<b>支払条件</b>							
支払条件を提示している回答企業の割合	88%	90%	88%	90%	90%	↘	高
平均支払条件（日数）	80	82	76	71	73	↗	高
<b>支払遅延</b>							
支払遅延を経験	42%	40%	34%	40%	40%	↗	低
平均支払遅延日数が 90 日以上	5%	3%	4%	6%	5%	↘	低
超長期支払遅延が売上高の 2%以上	6%	8%	9%	11%	8%	↘	低
<b>全体</b>						↘	低

## マレーシア

コファスの評価：A4

	2020	2021	2022	2023	2024	2024 vs.2023	対 APAC
<b>支払条件</b>							
支払条件を提示している回答企業の割合	92%	71%	89%	86%	88.0%	↗	高
平均支払条件（日数）	51	59	59	57	61	↗	低
<b>支払遅延</b>							
支払遅延を経験	69%	99%	68%	47%	42%	↘	低
平均支払遅延日数が 90 日以上	10%	2%	20%	13%	9.3%	↘	低
超長期支払遅延が売上高の 2%以上	12%	0%	26%	22%	36%	↗	低
<b>全体</b>						↗	低

## シンガポール

コファスの評価：A3

	2020	2021	2022	2023	2024	2024 vs.2023	対 APAC
<b>支払条件</b>							
支払条件を提示している回答企業の割合	89%	85%	94%	92%	92%	↘	高
平均支払条件（日数）	50	53	48	54	53	↘	低
<b>支払遅延</b>							
支払遅延を経験	60%	71%	77%	62%	60%	↘	高
平均支払遅延日数が 90 日以上	15%	5%	8%	12%	4.0%	↘	高
超長期支払遅延が売上高の 2%以上	22%	15%	12%	23%	18%	↘	低
<b>全体</b>						↘	低

## 台湾

コファスの評価：A2

	2020	2021	2022	2023	2024	2024 vs.2023	対 APAC
<b>支払条件</b>							
支払条件を提示している回答企業の割合	84.7%	69.9%	86.7%	87.1%	91%	↗	高
平均支払条件（日数）	75	78	79	78	76	↘	高
<b>支払遅延</b>							
支払遅延を経験	50.5%	49.0%	73.4%	46.5%	51.0%	↗	高
平均支払遅延日数が 90 日以上	17.3%	10.1%	17.0%	9.7%	9.1%	↘	低
超長期支払遅延が売上高の 2%以上	10.5%	7.7%	9.6%	16.7%	14.8%	↘	低
<b>全体</b>						↘	高

## タイ

コファスの評価：B

	2020	2021	2022	2023	2024	2024 vs.2023	対 APAC
<b>支払条件</b>							
支払条件を提示している回答企業の割合	89.3%	82.9%	84.0%	72.7%	72%	↘	低
平均支払条件（日数）	53	56	50	57	74	↗	高
<b>支払遅延</b>							
支払遅延を経験	58.7%	65.1%	67.3%	60.7%	67.0%	↗	高
平均支払遅延日数が 90 日以上	14.4%	5.9%	4.8%	3.3%	30.4%	↗	高
超長期支払遅延が売上高の 2%以上	16.9%	13.9%	11.4%	20.9%	37.3%	↗	低
<b>全体</b>						↗	高

## 倒産リスク

A1

非常に低い

A2

低い

A3

満足な水準

A4

妥当な水準

B

かなり高い

C

高い

D

非常に高い

E

極めて高い

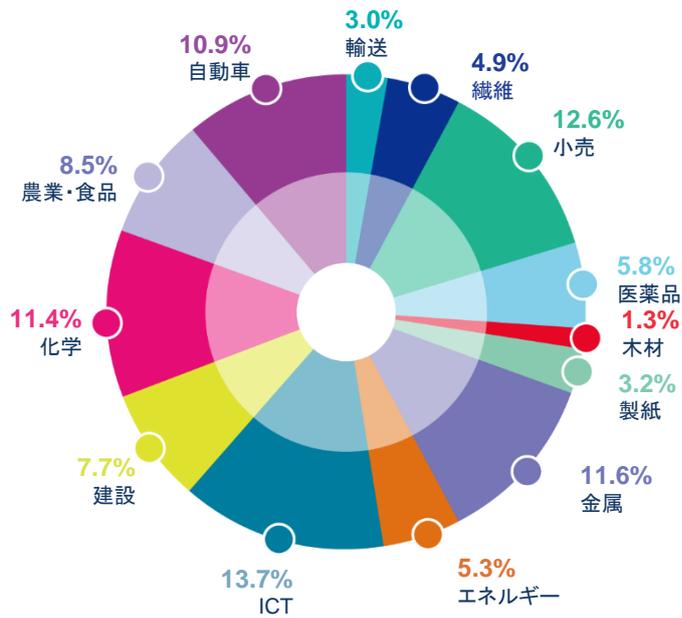
## 別添資料



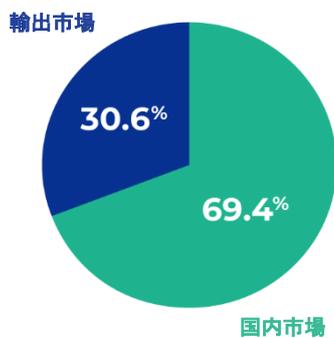
支払動向調査に参加した企業は

合計 **2,439**  
社

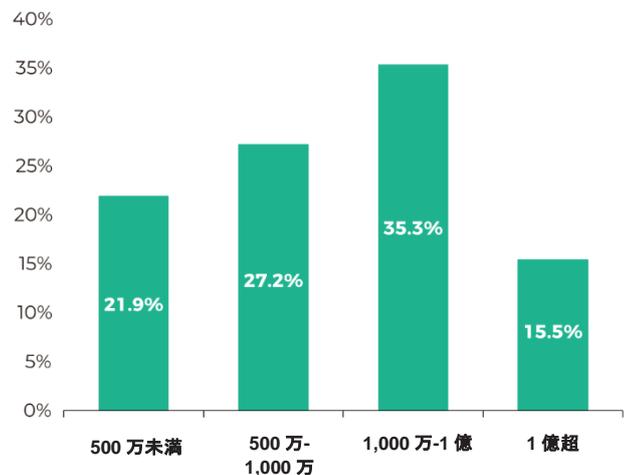
貴社の業種について、最も適切なものはどれですか？



主な販売先はどこですか？



2024年の貴社の推定総売上高(ユーロ換算)



# 用語集



## 支払条件（支払期間）

顧客が商品やサービスを購入した時点から支払期日までの期間

## 支払遅延

支払期日と実際の支払日との間の期間

## 免責事項

本文書は、作成日現在、入手可能な情報に基づくコファスの経済調査部の意見を反映したものであり、随時変更される可能性があります。本書に含まれる情報、分析、意見は、信頼性が高く、かつ真摯であると考えられる複数の情報源に基づいて作成されていますが、コファスは本書に含まれるデータの正確性、完全性、現実性を保証するものではありません。情報、分析、意見は情報提供のみを目的としており、読者が他に入手できる情報を補足することを意図しています。コファスは、データの正確性、完全性、現実性に関して、誠意をもって、また手段の義務（合理的な商業的手段と理解される）に基づき、本文書を公表します。コファスは、読者が情報、分析、意見を使用した結果、読者が被ったいかなる種類の損害（直接的、間接的を問わず）または損失についても責任を負わないものとします。従って、読者は、この文書に基づいて下す決定とその結果について、単独で責任を負うものとします。本文書およびここに表明された分析・意見はコファスの独占的所有物であり、読者は、「コファス」の名称が明記され、この段落が複製され、データが変更・修正されないことを条件として、内部使用のためにのみ、それらを参照または複製する権限を有します。コファスの事前の同意がない限り、公的又は商業的な使用、抽出、複製は禁止されています。読者は、コファスのウェブサイト上の法的告知を参照してください：

<https://www.coface.com/Home/General-informations/Legal-Notice>.

## COFACE SA

1, place Costes et Bellonte  
92270 Bois-Colombes  
France

[www.coface.com](http://www.coface.com)

本レポートは『Coface Asia Payment Survey 2025』の参考訳（日本語）です。原文は[こちら](#)をご参照ください。